

|     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 1.  | ④ | 11. | ④ | 21. | ② | 31. | ① | 41. | ① |
| 2.  | ④ | 12. | ② | 22. | ④ | 32. | ③ | 42. | ③ |
| 3.  | ① | 13. | ① | 23. | ④ | 33. | ② | 43. | ④ |
| 4.  | ① | 14. | ④ | 24. | ① | 34. | ② | 44. | ③ |
| 5.  | ④ | 15. | ④ | 25. | ③ | 35. | ① | 45. | ② |
| 6.  | ① | 16. | ④ | 26. | ③ | 36. | ④ | 46. | ④ |
| 7.  | ③ | 17. | ④ | 27. | ④ | 37. | ④ | 47. | ③ |
| 8.  | ② | 18. | ① | 28. | ④ | 38. | ② | 48. | ② |
| 9.  | ③ | 19. | ③ | 29. | ① | 39. | ② | 49. | ④ |
| 10. | ③ | 20. | ④ | 30. | ② | 40. | ② | 50. | ④ |

1.

解答 ④

## 【解説】

正解は④「危険な」です。「It is dangerous to swim in this river.」(この川で泳ぐのは危険です)。①「親切な」は kind、②「有名な」は famous、③「真面目な」は serious です。

◆補足：反対語は safe (安全な) です。名詞形は danger (危険) です。

2.

解答 ④

## 【解説】

正解は④「案内人、ガイド」です。「guide」は、特に観光客のグループに道を示す人です。例えば、「Our tour guide was very knowledgeable.」(私たちのツアーガイドはとても博識でした)。①「警備員」は guard、②「客」は guest、③「神」は god です。

◆補足：guide は動詞としても使われ、「案内する」を意味します。例：「He guided us through the museum.」(彼は私たちが博物館の中を案内してくれた)。「ガイドブック」は a guidebook です。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「お祝い、祝賀会」です。「celebration」は、何かを祝うときの特別な社交イベント、例えばパーティーなどを指します。例えば、「We had a big celebration for his birthday.」（私たちは彼の誕生日に大きなお祝いをしました）。②「招待」は invitation、③「説明」は explanation、④「卒業」は graduation です。

◆補足：動詞形は celebrate（祝う）です。「Let's celebrate your success!」（君の成功を祝おう！）。

---

4.

解答 ②

【解説】

正解は②「現代の、近代的な」です。形容詞です。「This building has a very modern design.」（この建物はとても現代的なデザインです）。反対語は①「古代の」で、これは ancient です。

◆補足：Modern history（近代史）は、近世初期から現代までの歴史の研究です。

---

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「secret」です。「Can you keep a secret?」（秘密を守れますか？）。①「sacred」は神聖な、②「scare」は怖がらせるという動詞、④「second」は2番目の、または秒を意味します。

◆補足：secret は「秘密の」という意味の形容詞としても使えます。例：「a secret plan」（秘密の計画）。

---

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「世界」です。「I want to travel around the world.」（私は世界中を旅したいです）。②「単語」は word、③「仕事」は work、④「壁」は wall です。発音に注意してください！

◆補足：「第二次世界大戦」は “World War II”、「ワールドカップ」は “the World Cup” というのはご存知かもしれません。形容詞形も world で、world peace（世界平和）のように使います。

---

7.

解答 ③

【解説】

正解は③「文」です。「Please write a few sentences about your family.」(あなたの家族についていくつか文を書いてください)。①「段落」は paragraph、②「単語」は word、④「文字」は letter です。  
◆補足：法律では、sentence は裁判官によって与えられる罰(判決)を意味することもあります、一般的な英語での主な意味は「文」です。

---

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「husband」です。「My husband works for a bank.」(私の夫は銀行で働いています)。①「wife」は対になる言葉で、妻です。②「father」は父、③「brother」は兄弟です。  
◆補足：husband と wife は結婚した couple (夫婦) です。

---

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「make a mistake」です。これは「間違ったことをする」という標準的な定型表現です。動詞 make を使うことを覚えておくことが重要で、do ではありません。例えば、「I'm sorry, I made a mistake.」(ごめんなさい、間違えました)。他の選択肢はこの文脈では文法的に正しくありません。  
◆補足：名詞は mistake (間違い) です。「by mistake」は「間違って」を意味します。例：「I took your umbrella by mistake.」(間違えてあなたの傘を持って行っていました)。

---

10.

解答 ②

【解説】

正解は②「困ったことになっている」です。「be in trouble」という表現は、困難な、心配な、または危険な状況にあることを意味します。また、罰せられる可能性が高い状況にあることも意味します。例えば、「I lost my wallet. I'm in trouble.」(財布をなくした。困ったことになった)。③「問題がある」も近いですが、be in trouble はより深刻な結果を伴うことが多いです。  
◆補足：get into trouble という表現は「面倒なことになる」を意味します。

---

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「～した最初の人」です。to do の部分は不定詞で、形容詞のように機能し、人物を修飾します。例えば、「He was the first person to walk on the moon.」（彼は月面を歩いた最初の人物でした）。

◆補足：序数を変えることができます：「the second person to do」（～した2番目の人）、「the third person to do」（～した3番目の人）など。また、名詞も変えられます：「the first thing to do」（最初にすべきこと）。

---

12.

解答 ③

【解説】

正解は③「(船が) 航行する」です。「sail」は、船やボートで水上を旅することを意味します。例えば、「We sailed around the islands.」（私たちは島々の周りを航行した）。①「売る」は sell、②「失敗する」は fail、④「ほほえむ」は smile です。

◆補足：名詞の sail は「帆」を意味します。船乗りは sailor です。

---

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「almost」です。この副詞は、「非常に近いが完全ではない」を意味します。例えば、「It's almost time to go.」（もうすぐ行く時間だ）や「I'm almost finished.」（ほとんど終わりました）。①「already」はすでに、②「always」はいつも、③「also」は～もまた、です。

◆補足：nearly は almost の非常に近い同義語で、しばしば交換可能です。

---

14.

解答 ②

【解説】

正解は②「western」です。この形容詞は west（西）から派生し、ある場所の西の部分にある、または西から来たものを表します。例えば、「western Japan」（西日本）。①「eastern」は東から、③「southern」は南から、④「northern」は北からのものです。

◆補足：Western（大文字で）は、しばしば西洋ヨーロッパや北米の文化（西洋）を指します。例えば、Western food（西洋料理）。

---

15.

解答 ②

【解説】

正解は②「burn」です。「The house is burning!」（家が燃えている！）や「I burned my hand.」（私は手をやけどした）。①「turn」は方向を変えること、③「born」は bear の過去分詞形で、「I was born in...」で使われます。④「barn」は大きな農場の建物です。

◆補足：過去形と過去分詞形は、規則的な burned または不規則的な burnt のいずれかです。アメリカ英語では burned がより一般的です。

---

16.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を通り抜けて、～を通して」です。前置詞「through」は、開口部、通路、場所の一方から他方へ移動することを意味します。例えば、「We walked through the forest.」（私たちは森を通り抜けて歩いた）。①throw（投げる）や③though（～だけれども）と混同しないように注意してください。

◆補足：through は期間を指すこともあります。「I slept through the storm.」（私は嵐の間ずっと眠っていた）。

---

17.

解答 ③

【解説】

正解は③「plant」です。動詞です。例えば、「We planted some flowers in our garden.」（私たちは庭にいくつかの花を植えました）。①「plan」は計画する、②「play」は遊ぶ、④「paint」は塗る、という意味です。

◆補足：名詞として、plant は「植物」や「工場」を意味します。

---

18.

解答 ④

【解説】

正解は④「州」です。アメリカ合衆国のような国において、「state」はその国を構成する政治単位の一つです。例えば、「The United States has 50 states.」（アメリカ合衆国には 50 の州があります）。①「駅」は station、②「舞台」は stage、③「滞在」は stay です。

◆補足：state は「状態」や「国家」を意味することもあります。動詞としては、「述べる」という意味です。

19.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「～を支払う」です。「I have to pay the rent.」(私は家賃を支払わなければならない)。

「遊ぶ」は play、③「滞在する」は stay、④「言う」は say です。

◆補足：過去形と過去分詞形は paid です。名詞形は payment (支払い) です。pay attention という表現は「注意を払う」を意味します。

---

20.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「thousand」です。これは数字の 1,000 を表す言葉です。例えば、「This computer costs two thousand dollars.」(このコンピュータは 2000 ドルです)。

①「hundred」は 100、②「million」は 1,000,000 (百万)、③「billion」は 1,000,000,000 (十億) です。

◆補足：特定の数字と一緒に使う場合、thousand は複数形になりません (例：「five thousand」、not 「five thousands」)。しかし、不特定の多数について話すときは複数形を使えます：「thousands of people」(何千人もの人々)。

---

21.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「professional」です。特別な訓練や教育を必要とする仕事に関連することを表します。例えば、「He is a professional baseball player.」(彼はプロ野球選手です)。

①「personal」は個人の、②「perfect」は完璧な、③「popular」は人気のある、という意味です。

◆補足：名詞形も professional (または略して pro) で、プロを意味します。反対語は amateur (アマチュア) です。職業そのものを指す名詞は profession (職業) です。

---

22.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「be known as」です。この表現は、誰かや何かが有名である名前や称号を述べるために使われます。例えば、「He is known as a great writer.」(彼は偉大な作家として知られている)。

②「be known for」は有名である理由に使われます (「He is known for his novels.」)。

③「be known to」は知っている人々に対して使われます (「He is known to everyone.」)。

◆補足：これらの表現はすべて、動詞 **know**（知る）の過去分詞 **known** を使っています。

23.

**解答** ④

【解説】

正解は④「**be made of**」です。この表現は、何かが作られている基本的な材料について話すときに使われ、その材料がまだ見える状態のときに使います。例えば、「**This desk is made of wood.**」（この机は木でできています）。①「**be made from**」は元の材料が何か別のものになったときに使われます（例：「**Wine is made from grapes.**」）。②「**be made in**」は製造地（例：「**made in Japan**」）、③「**be made by**」は製作者に使われます。

◆補足：これは、動詞 **make**（作る）からの受動態の構文です。

---

24.

**解答** ④

【解説】

正解は④「プラスチック、ビニール」です。例えば、ペットボトルやビニール袋は一般的な製品です。

①「紙」は **paper**、②「木」は **wood**、③「金属」は **metal** です。

◆補足：環境を守るために **plastic bags**（ビニール袋）の使用を減らすことがしばしば奨励されます。

---

25.

**解答** ①

【解説】

正解は①「**game**」です。また、スポーツの試合一回分を意味することもあります。「**Let's play a card game.**」（カードゲームをしよう）／「**Did you watch the baseball game last night?**」（昨夜の野球の試合を見ましたか？）。②「**fame**」は名声、③「**same**」は同じ、④「**name**」は名前です。

◆補足：「テレビゲーム」は **Video games** で、人気の娯楽形態です。

---

26.

**解答** ④

【解説】

正解は④「**wallet**」です。しばしば男性によって使われます。例えば、「**I lost my wallet yesterday.**」（昨日、財布をなくしました）。①「**pocket**」はポケット、②「**passport**」はパスポート、③「**packet**」は小包や小袋です。

◆補足：女性がお金や鍵などを持ち運ぶために使う小さなバッグは、しばしば **purse** と呼ばれます。

27.

**解答** ④

【解説】

正解は④「write to」です。この表現は、特定の人に手紙やメールを書くことを意味します。その人は前置詞 to の目的語になります。例えば、「I have to write to my grandmother.」（私は祖母に手紙を書かなければなりません）。①は～と話す、②は～を聞く、③は～に属する、です。

◆補足：write someone a letter という構文も同じ意味で使えます。「I wrote my grandmother a letter.」＝「I wrote a letter to my grandmother.」

---

28.

**解答** ③

【解説】

正解は③「true」です。「Is it true that you are moving?」（あなたが引っ越すというのは本当ですか?）。①「through」は～を通り抜けてという意味の前置詞、②「threw」は動詞 throw（投げる）の過去形、④「tree」は木です。発音に注意してください！

◆補足：反対語は false（偽りの）です。名詞形は truth（真実）です。

---

29.

**解答** ③

【解説】

正解は③「(サイズなどが) 合う」です。動詞「fit」は、誰かや何かにとって正しい形やサイズであることを意味します。例えば、「This shirt fits me perfectly.」（このシャツは私にぴったり合います）。①「座る」は sit、②「満たす」は fill、④「見つける」は find です。

◆補足：形容詞として、fit は特にイギリス英語で「健康で丈夫な」という意味もあります。

---

30.

**解答** ④

【解説】

正解は④「回戦、ラウンド」です。スポーツや競技における名詞として、「round」は一連の段階の一つです。例えば、「She won the first round of the tennis tournament.」（彼女はテニストーナメントの一回戦に勝利した）。①「丸い」は round の形容詞の意味です。②「地面」は ground、③「音」は sound です。

◆補足：形容詞として、round は「円の形をした」を意味します。例：「a round table」（円卓）。

31.

**解答** ④

【解説】

正解は④「meal」です。「I had a wonderful meal at that restaurant.」(私はそのレストランで素晴らしい食事をした)。  
①「mail」は郵便、②「male」は男性、③「mile」は距離の単位です。

◆補足：light meal は軽食です。home-cooked meal は手料理を意味します。

---

32.

**解答** ②

【解説】

正解は②「newspaper」です。「I read the newspaper every morning.」(私は毎朝新聞を読みます)。  
①「magazine」は雑誌、③「textbook」は教科書、④「notebook」はノートです。

◆補足：新聞社で働く人は journalist や reporter です。新聞社はしばしば the press と呼ばれます。

---

33.

**解答** ③

【解説】

正解は③「common」です。「よく起こる」または「多数見られる」(普通の、ありふれた)を意味することがあります。また、「二人以上の人々によって所有または共有される」(共通の)を意味することもあります。例えば、「Sato is a common family name in Japan.」(佐藤は日本でよくある苗字です)や「We have a common goal.」(私たちには共通の目標がある)。  
①は company、②は complete、④は complex です。

◆補足：反対語は uncommon や rare (珍しい) です。in common は「共通して」を意味する表現です。「We have a lot in common.」(私たちには共通点がたくさんある)。

---

34.

**解答** ②

【解説】

正解は②「deep」です。「This river is very deep.」(この川はとても深い)。  
①「cheap」は安い、③「sleep」は眠るという動詞、④「keep」は保つという動詞です。

◆補足：deep の反対語は shallow (浅い) です。名詞形は depth (深さ) です。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④「(音や声が) 大きい、うるさい」です。形容詞または副詞です。例えば、「The music is too loud.」(音楽が大きすぎます)。②「静かな」は quiet で、反対語です。①「低い」は low、③「遅い」は slow です。

◆補足：副詞形は loudly です。「He speaks loudly.」(彼は大声で話す)。

---

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「history」です。これは過去の出来事、特に人間に関するものの研究です。また、一般的な学校の教科でもあります。例えば、「I like studying world history.」(私は世界史を勉強するのが好きです)。①「mystery」は謎やミステリー、③「story」は物語、④「victory」は勝利を意味します。

◆補足：形容詞形は historical (歴史的な) で、historical drama (時代劇) のように使われます。歴史を研究する人は historian (歴史家) です。

---

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「遠い」です。形容詞または副詞です。「How far...?」という質問は、ある場所までの距離を尋ねます。例文は「駅までどのくらいの距離がありますか?」という意味です。①「速い」は fast、②「農場」は farm、③「4」は four です。

◆補足：反対語は near (近い) です。比較級・最上級は farther/further と farthest/furthest です。

---

38.

解答 ①

【解説】

正解は①「全体の、すべての」です。「whole」は「すべての」または「全体の」を意味する形容詞です。何かのすべての部分について話していることを強調するために使われます。例えば、「I ate the whole cake by myself.」(私は一人でそのケーキを全部食べた)。②「穴」は別の単語 hole で、同じ発音です。③「半分の」は half、④「健康な」は healthy です。

◆補足：whole は通常、単数可算名詞 (例：the whole day) と共に使われ、a/an または the の後に置かれます。all は複数名詞 (例：all the days) と共に使われます。

39.

**解答** ①

【解説】

正解は①「地震」です。「earthquake」は earth（地球）と quake（揺れ）の複合語です。「Japan has many earthquakes.」（日本は地震が多い）。②「火山」は volcano、③「竜巻」は tornado、④「洪水」は flood です。

◆補足：「大地震」は a strong earthquake です。

---

40.

**解答** ①

【解説】

正解は①「style」です。style は、何かをしたり、デザインしたり、生産したりする特定のやり方です。例えば、「I like her hairstyle.」（私は彼女の髪型が好きです）。また、生活様式、lifestyle を指すこともあります。②「smile」はほほえみ、③「steel」は鋼鉄、④「still」はまだという意味の副詞です。

◆補足：形容詞形は stylish（スタイリッシュな、おしゃれな）です。

---

41.

**解答** ④

【解説】

正解は④「story」です。story は、実際または架空の一連の出来事の記述です。例えば、「My grandfather told me an interesting story.」（祖父は私に面白い話をしてくれた）。①「history」は歴史、②「study」は勉強、③「store」は店です。

◆補足：short story は短編小説です。story という単語は、「a three-story building」（3階建てのビル）のように、建物の階を意味することもあります。これは別の意味です。

---

42.

**解答** ③

【解説】

正解は③「親しみやすい、人懐っこい」です。「The people in this town are very friendly.」（この町の人々はとても親しみやすいです）。これは名詞の②「友達」（friend）から来ています。①「自由な」は free、④「面白い」は funny や interesting です。

◆補足：friendly は“-ly”で終わりますが、副詞ではなく形容詞です。これは一般的な例外です。名詞形は friendship（友情）です。

43.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「tell A to do」です。この構文は、誰かに何かをするように指示したり命令したりするときに使われます。頼むよりも強いです。例えば、「The doctor told me to take this medicine.」（医者は私にこの薬を飲むように言った）。①「ask A to do」は依頼（頼む）、②「want A to do」は願望（～してほしい）、④「allow A to do」は許可（許す）です。

◆補足：過去形は told です。「My mother told me to clean my room.」（母は私に部屋を掃除するように言った）。

---

44.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「go on a picnic」です。「Let's go on a picnic this weekend.」（今週末、ピクニックに行きましょう）。一番間違えやすいのが①の go to a picnic ですが、go to の後ろには「行先、到達点」を意味する「場所」がきますので、一般的に「ピクニックに行く、出かける」の意味では使いません。

◆補足：go on a ... という構文は、「目的」を表す on を使ったもので、go on a date（デートに行く）や go on a tour（ツアーに参加する）など、他の活動にも使われます。

---

45.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「～で忙しい」です。「I'm busy with my homework.」（私は宿題で忙しいです）。他の選択肢は異なる一般的な表現です。

◆補足：be busy doing（～するのに忙しい）も使えます。例：「I'm busy preparing for the trip.」（私は旅行の準備で忙しいです）。

---

46.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「（肯定文で）誰か」です。「someone」は、特定せずに誰かを指すために使われます。肯定文で使われます。例えば、「Someone is at the door.」（誰かがドアの所にいます）。②「（疑問文で）誰か」は anyone、③「誰も～ない」は no one、④「みんな」は everyone です。

◆補足：someone と somebody は同じ意味で、交換可能です。

47.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「～に沿って」です。前置詞「along」は、川や道のような長いものの隣を線状に動くことを意味します。例えば、「We walked along the river.」（私たちは川に沿って歩いた）。②「～を横切って」は across、③「～の周りに」は around、④「～なしで」は without です。

◆補足：come along という表現は「一緒に行く」を意味します。例：「We're going to the movies. Do you want to come along?」（映画に行くんだ。一緒に行く？）。

---

48.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「謎、不思議なこと」です。また、犯罪、通常は殺人事件に関するフィクションのジャンルでもあります。例えば、「I like reading mystery novels.」（私はミステリー小説を読むのが好きです）。②「歴史」は history、③「悲劇」は tragedy、④「惨めさ」は misery です。

◆補足：形容詞形は mysterious（謎めいた）です。

---

49.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「the United States」です。これはアメリカ合衆国の一般的な名称です。しばしば the U.S.や the USA と略されます。例えば、「I want to visit the United States someday.」（いつかアメリカ合衆国を訪れたいです）。①「the United Kingdom」はイギリス、②と③は南米と中米大陸を指します。

◆補足：国について話すときは、the United States の前に the を付けるのが標準です。アメリカ出身の人は Americans と呼ばれます。

---

50.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②「novel」です。「He is a famous novelist.」（彼は有名な小説家です）。①「poem」は詩、③「comic」は漫画、④「letter」は手紙です。

◆補足：小説を書く人は novelist です。novel は形容詞として「斬新な」という意味もありますが、これはより高度な意味です。